

8 | 地政学的知性を研ぎ澄ます
船橋洋一 日本再建イニシアティブ理事長

10 | 「豪州が日本のために対中関係を犠牲にすることはない」
ヒュー・ホワイト オーストラリア国立大学教授

■巻頭論文

■特集

「価値観への「殉教」」
— 神中心主義イスラム対欧米民主主義 —

16 | 総論 人権絶対か宗教絶対か
— 「殉教」の相克 —

24 | フランスの共和国原理
「二にして不可分」
鹿島茂 明治大学教授

30 | 危機に立つフランスの試練
池村俊郎 帝京大学教授

34 | 在仏ムスリム移民をめぐる誤解
森千香子 一橋大学准教授

38 | 風刺が惨劇を生む時代
鈴木美勝 本誌編集長

42 | 「アラブの冬」に希望はあるか
— チュニジアジャスミン革命後の疲弊 —
タレク・ムラド ジャーナリスト

■特別企画

戦後70年
私にとつての戦後史の瞬間

68 | 日中国交正常化と大平正芳の醒めた目
鈴木美勝 時事通信解説委員

70 | 湾岸戦争を教訓にできた
日本の国際協調主義
福田康夫 元内閣総理大臣

72 | 芸術としての政治
中曽根電撃訪韓
橋本五郎 読売新聞特別編集委員

74 | 汎ヨーロッパ・ピクニック事件
関口宏道 松蔭大学教授

76 | 朝鮮半島南北分断を実感した日
若宮啓文 日本国際交流センターシニアフエロ

78 | イラク軍がクウェートに侵攻
栗山尚一 元駐米大使

144 | 古典読みかえし

「消えた春 特攻に散った投手石丸進一」
牛島秀彦 著
古川貞二郎 母子愛育会理事長 元内閣官房副長官

「ナシヨナリズムの歴史と現在」
E.J.ホプズボーム 著 酒井啓子 千葉大学教授

48 | 米国における自由と平等の可能性と限界
渡辺靖 慶應義塾大学教授

■対談
52 | アメリカを語る
加藤良三 元駐米大使
阿川尚之 慶應義塾大学教授

61 | 現代世界の危機は何処から生まれるか
山内昌之 東京大学名誉教授・明治大学特任教授

■一点視界
101 | 昭和天皇訪米への道(下)
舟橋正真 日本学術振興会特別研究員

108 | 契丹の最後の拠点
— 草原を守る辺境の砦 —
阿南ヴァージニア史代 歴史研究者

■提言
114 | 日本人はテロに屈しない新たな決意を
平林博 元駐仏大使

■Viewpoints
82 | イスラム過激派「IS」に狙われた日本
宮家邦彦 キヤングローバル戦略研究所研究主幹

87 | 日韓国交正常化50年
— 徴用工賠償問題と「1965年体制」の風化 —
ローダンニエル 京都産業大学客員研究員

90 | 宇宙「戦域」で進む米中の戦い
秋田浩之 日本経済新聞論説委員兼政治部編集委員

95 | 習近平政権下の言論統制
阿古智子 東京大学准教授

138 | 外交の「要諦」
小倉和夫 青山学院大学特別招聘教授

142 | グラスルーツ発 外交の架け橋
3・11大震災からの復讐へ
被災地から世界へ
アミア・ニッパ
岩手 陸前高田市 海外広報ディレクター

■書評
143 | Japanese
『日本占領史1945-1952』
東京ワシントン・沖繩
村田晃嗣 同志社大学長

English
Howard W. French
China's Second Continent
阿南ヴァージニア史代 歴史研究者
Christopher R. Hill
Outpost: Life on the
Frontlines of American
Diplomacy: A Memoir
高濱 賛 在米ジャーナリスト

Chinese
鍾祖康「來生不做中國人」
坂井臣之助 ジャーナリスト翻訳家

■連載

80 | アメリカ政治アネクトド
小谷部一郎 在米ジャーナリスト
Cartoon says it all
マンガをみれば世界がわかる
西川恵 毎日新聞客員編集委員

120 | 米中関係のルーツをさぐる
米国の対中外交を側面支援
してきた歴史の生き証人
譚璐美 ノンフィクション作家

124 | 音楽と外交
ハインリッヒ・シュツツ
「クライネ・ガイストリツヒエ
コンツェルテ」
小栗勘太郎 音楽愛好家

126 | ニューズ裏読み深読み
米国「キューバ、そして日本」…
河内孝 ジャーナリスト
広報(ハブリックタイプロマシー)と
宣伝(プロパガンダ)
伊奈久喜 日本経済新聞特別編集委員

130 | 映画と戦争
生き残った罪
藤原帰一 東京大学教授

136 | 苦言賞賛
もつと知りたい
ドイツ「脱原発」事情
山田孝男 毎日新聞特別編集委員